

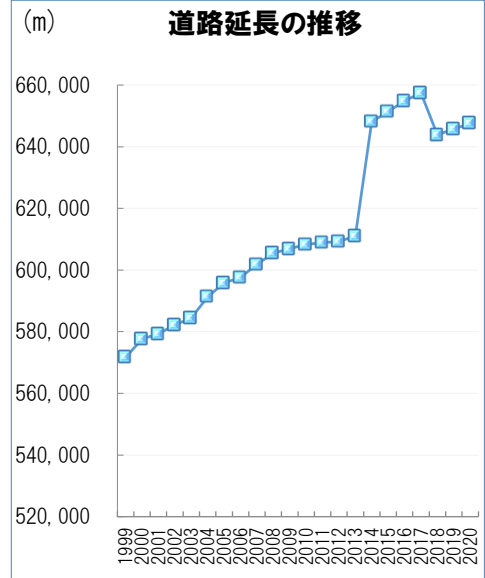
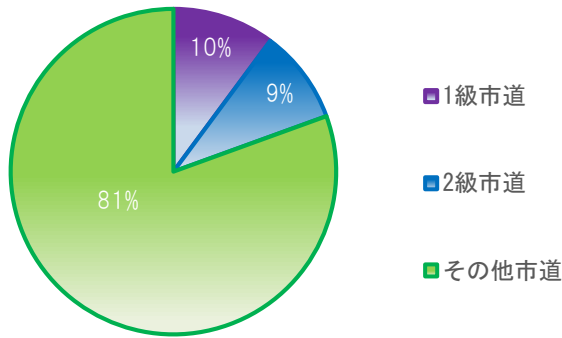
資 料

・ インフラ種類別の整備状況と将来費用の試算	
道 路……………	資 1
橋りょう……………	資 2
上 水 道……………	資 3
下 水 道……………	資 5
・ 将来費用の試算等の条件	…………… 資 7

道路

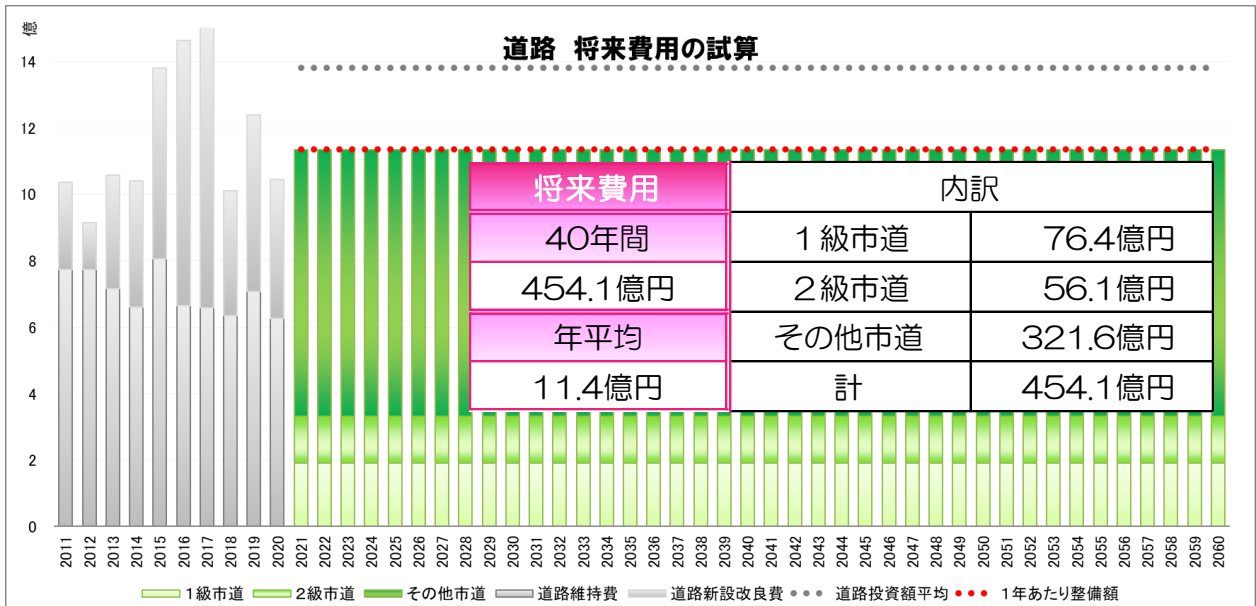
1 保有量・整備状況（令和3年3月31日現在）

道路	路線	延長	面積	
	市道	2,908	648,272m	3,622,637 m ²
	1級市道	24	65,727m	609,247 m ²
	2級市道	43	60,461m	447,798 m ²
	その他市道	2,841	522,084m	2,565,592 m ²



2 将来費用の試算

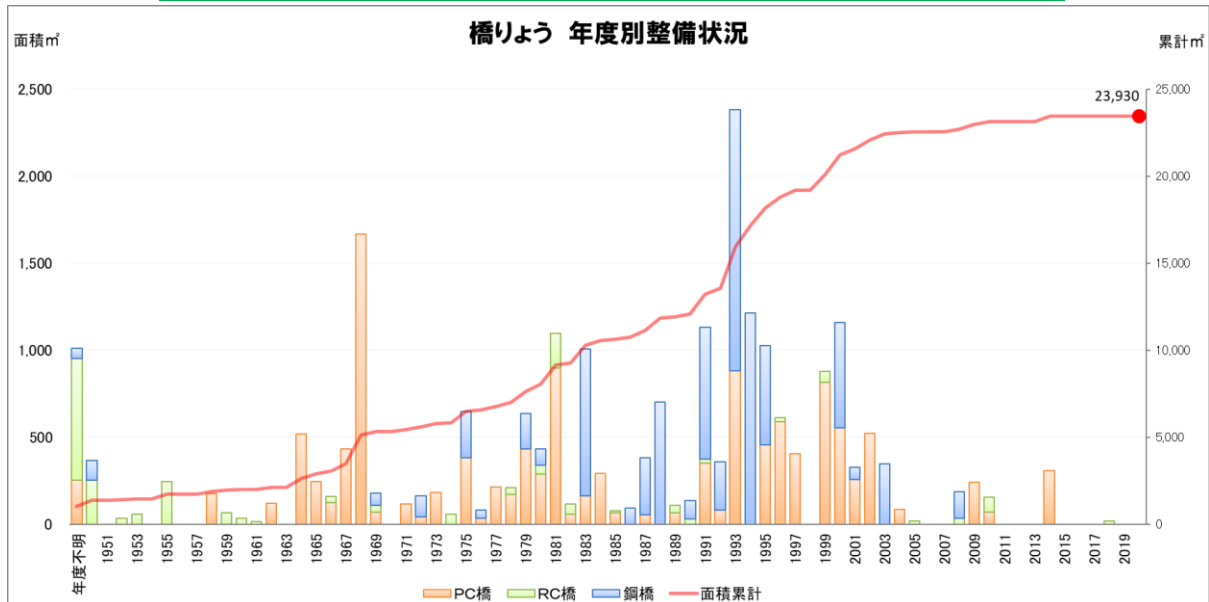
市道の現在の規模を維持した場合の更新試算額は、40年間で約454億円となり、平準化すると、年間約11億円が必要となります。



橋りょう

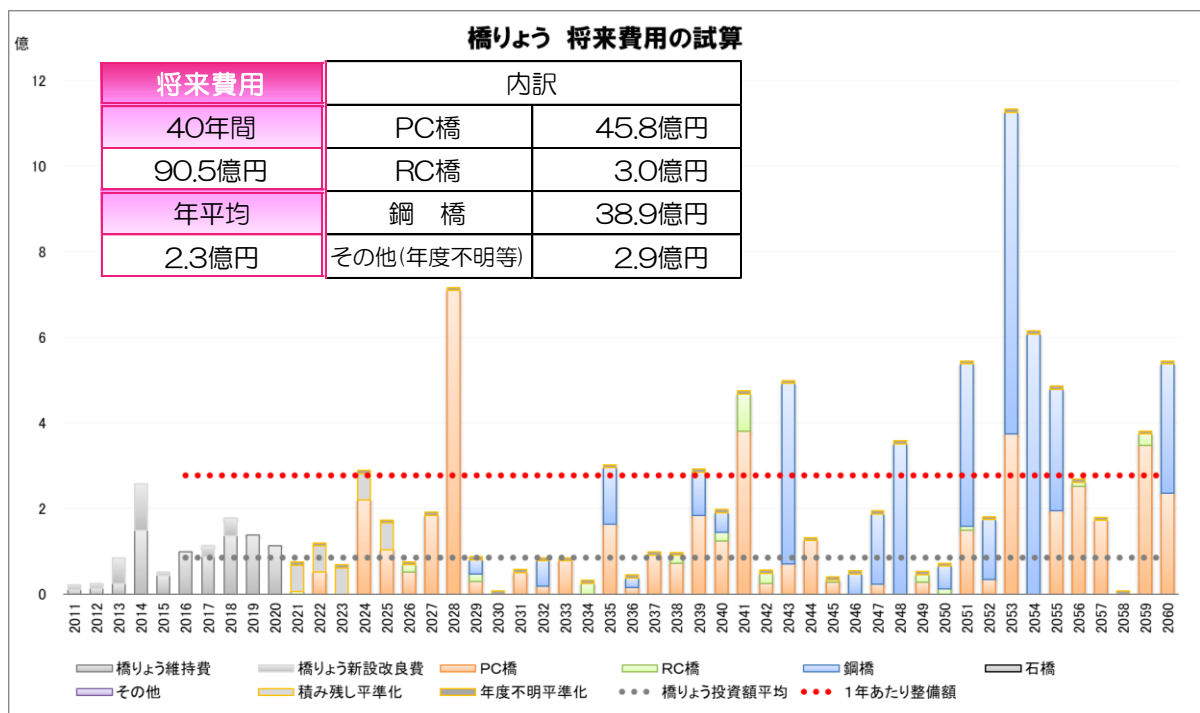
I 保有量・整備状況（令和3年3月31日現在）

橋	数量	延長	面積
	165	2,963m	23,930 m ²



2 将来費用の試算

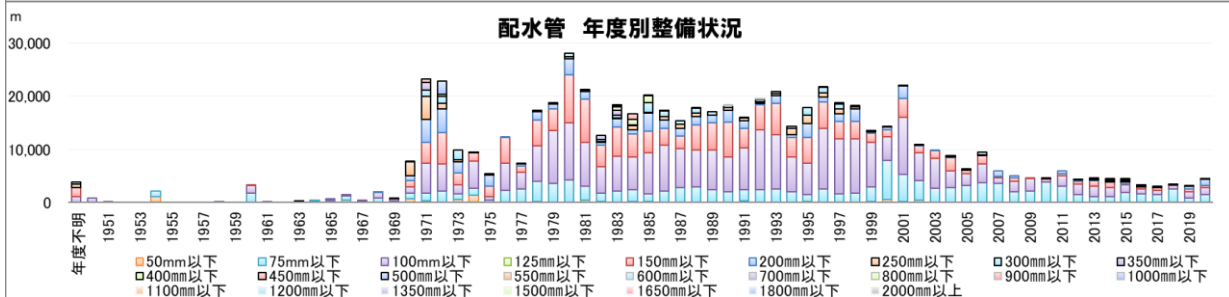
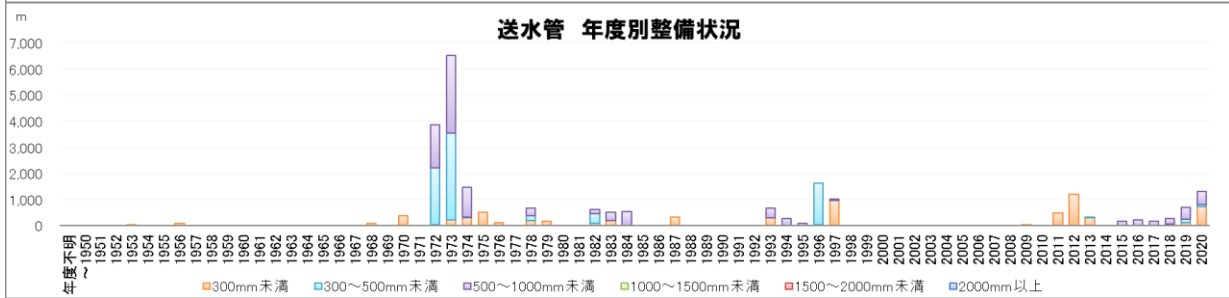
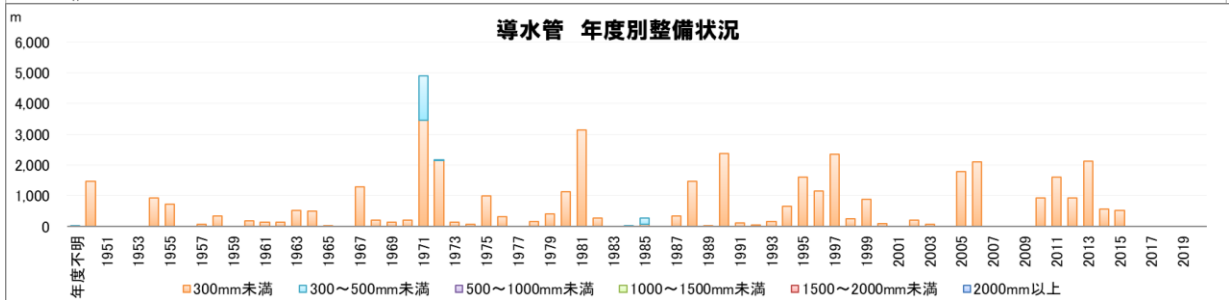
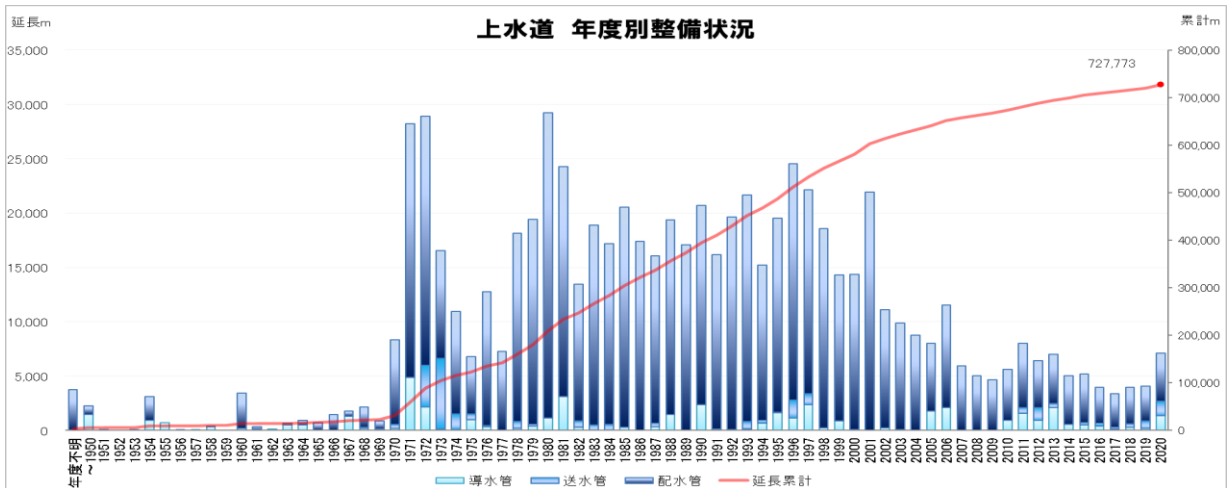
橋りょうの現在の規模を維持した場合の更新試算額は、40年間で約90億円となり、平準化すると、年間約2億円が必要となります。



上水道

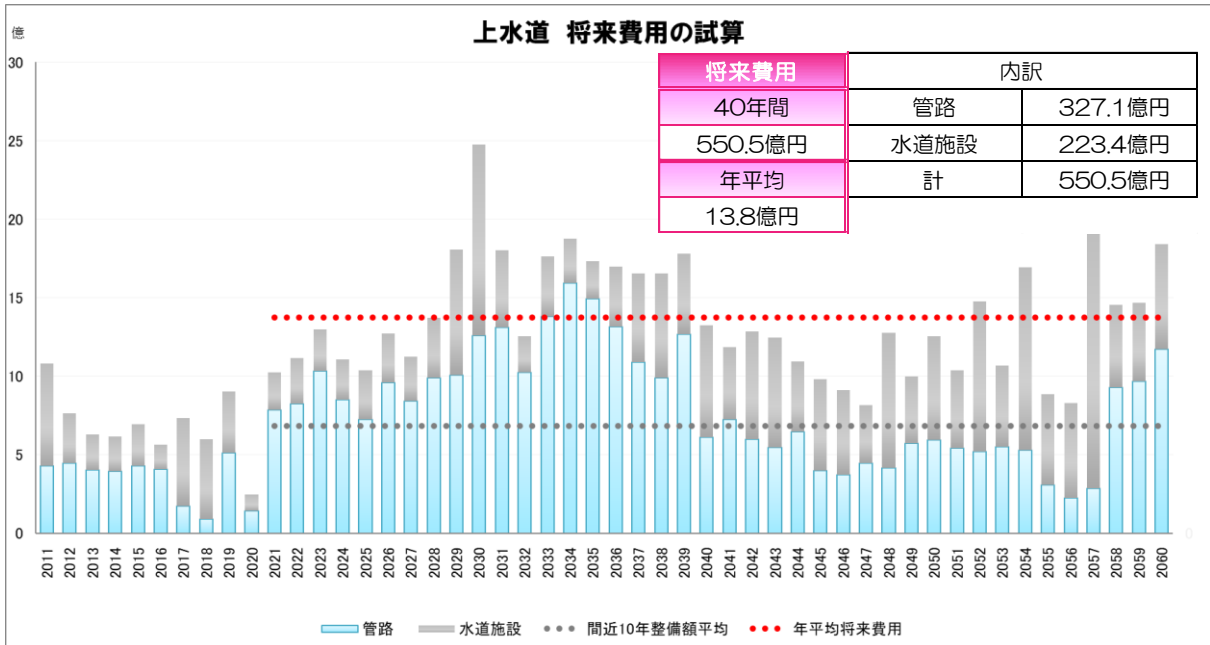
I 保有量・整備状況 (令和3年3月31日現在)

上水道	種類	延長	種類	数量	備考
	水道管計	727,773m	取水施設	47 施設	認可取水量 91,440 m ³
	導水管	45,616m	浄水施設	1 施設	
	送水管	24,548m	配水施設	27 施設	有効容量 51,520 m ³



2 将来費用の試算

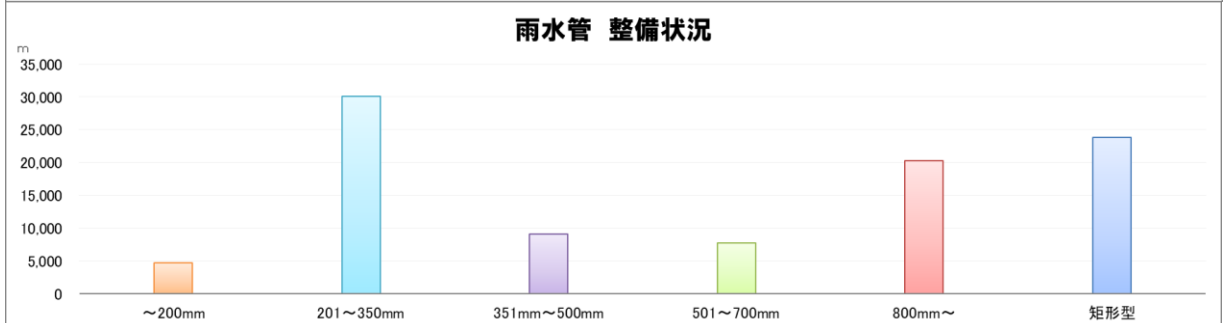
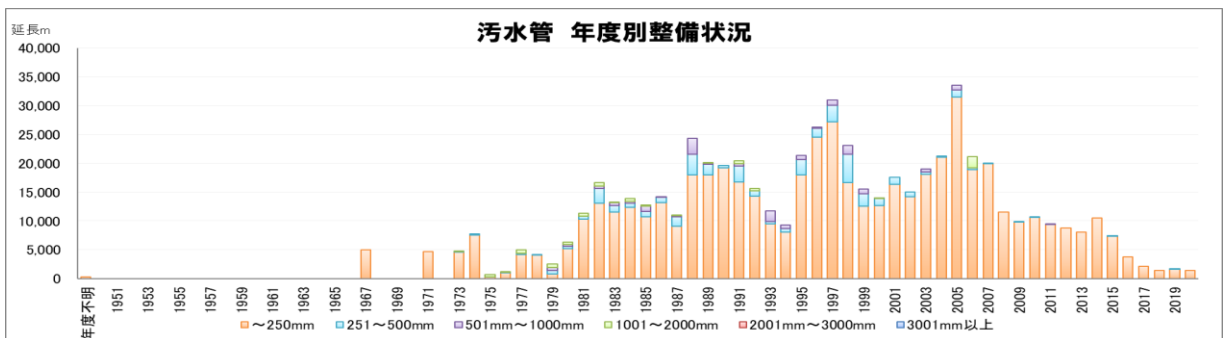
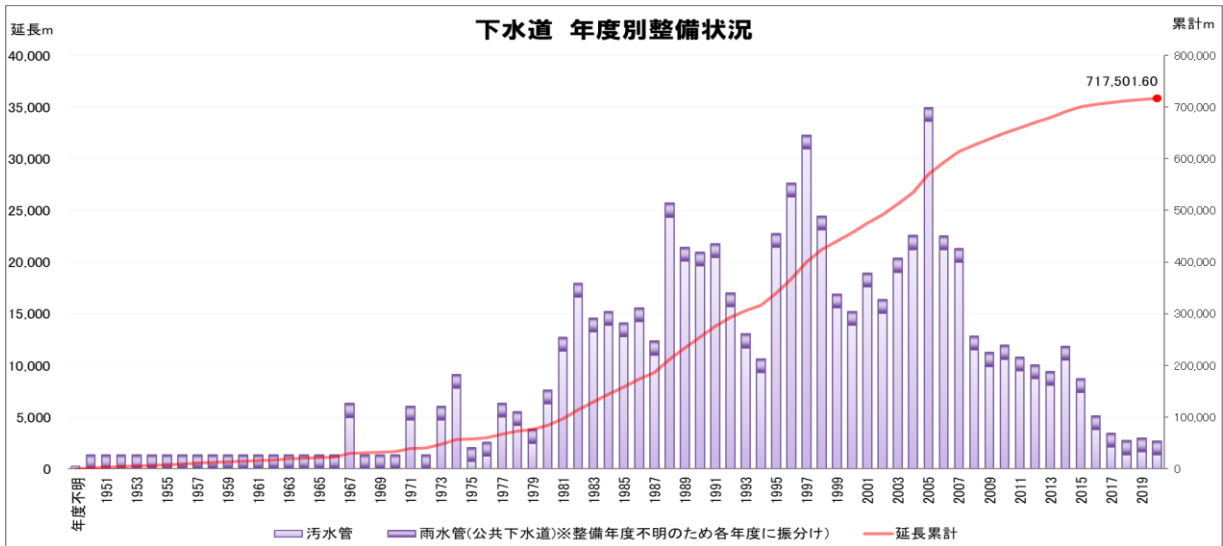
水道管に関して、現在の規模を維持した場合の更新試算額は、今後40年間で約551億円となり、平準化すると、年間約14億円が必要となります。



下水道

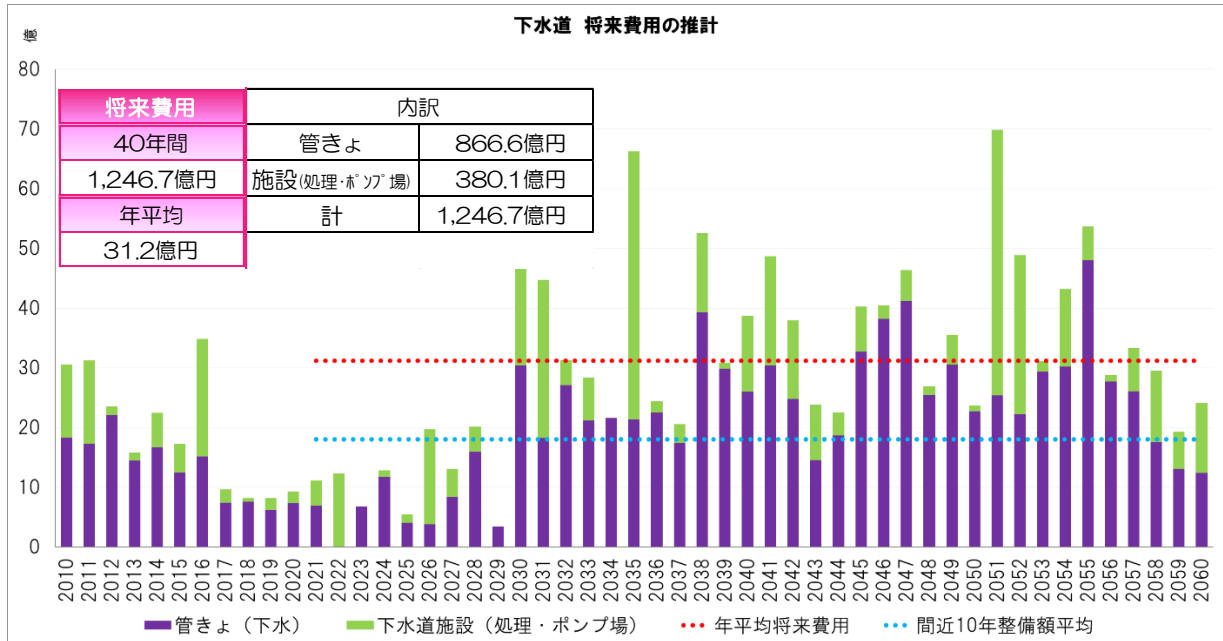
I 保有量・整備状況（令和3年3月31日現在）

下水道	種類	延長	備考
	下水道管計	717,501m	公共下水道
	汚水管きよ	621,851m	
	雨水管きよ	95,650m	
	秦野市浄水管理センター	56,700m ³ /日	計画処理能力 ※床面積 21,729 m ² 土地 76,500 m ²
	鶴巻中継ポンプ場	0.305m ³ /秒	ポンプ能力 6.1m ³ /分×4 台(うち1台予備)
	大根川ポンプ場	15.1m ³ /秒	ポンプ能力 52m ³ /分×2 台、400m ³ /分×2 台
	マンホールポンプ(汚水)	71 か所	うち自家発 3 か所



2 将来費用の試算

下水道管及び施設に関して、現在の規模を維持した場合の更新試算額は、今後40年間で約1,247億円となり、平準化すると、年間約31億円が必要となります。



将来費用の試算等の条件

【ハコモノ】

- ・ 既に建替え時期を迎えている建物は、全てを令和 3 年(2021 年)に建替えと仮定する。
- ・ 建替え後のハコモノは、鉄筋コンクリート造とする。
- ・ 公共施設再配置計画における設定単価等を使用する。

	建替え(鉄筋コン)		改修
	年数	単価/㎡	
鉄筋コンクリート造	60	400 千円	公共施設保全計画に基づく費用
鉄骨造	45	400 千円	
木造	30	400 千円	

※ 小中学校及び幼稚園は、300 千円/㎡

【道 路】

- ・ 国土交通白書の舗装耐用年数 10 年、一般的な供用耐用年数 12~20 年より、15 年に一度、全面的に舗装の打換を行うものとして算出する。

	単価/㎡	年数
1級市道	4,700 円	15
2級市道	4,700 円	15
その他市道	4,700 円	15

- ・ 道路の耐用年数については、平成 17 年度(2005 年度)国土交通白書によると、道路改良部分は 60 年、舗装部分は 10 年となっているが、更新費用の試算においては、舗装の打換えについて算定することがより現実的と考えられることから、舗装耐用年数の 10 年と舗装の一般的な供用寿命の 12~20 年のそれぞれの年数を踏まえ 15 年とし、全整備面積をこの 15 年で割った面積の舗装部分を毎年度更新していくと仮定する。
- ・ 道路の更新単価については、「道路統計年報 2009」(全国道路利用者会議)で示されている平成 19 年度(2007 年度)の舗装補修事業費(決算額)を舗装補修事業量で割って算定されたものから設定する。

【橋りょう】

- ・ 法定耐用年数より、構築年度から 60 年で全面更新するものとして算出する。

	単価/㎡	年数		単価/㎡	年数
PC橋	425 千円	60	石橋	425 千円	60
RC橋	425 千円	60	その他	425 千円	60
鋼橋	500 千円	60			

- ・ 橋りょうの更新単価については、橋長が 15m 未満のものとは 15m 以上のものに分けて、道路橋の工事实績(道路橋年報)より、総量のみ把握の場合は全て 448 千円/㎡とし、年度別・構造別で把握ができる場合は、更新年数の考え方で記述した区分に従い PC(プレストレスト・コンクリート)橋は 425 千円/㎡、鋼橋は 500 千円/㎡とする。

【上水道・下水道】

「はだの上下水道ビジョン」における「水道事業の更新需要の推移と予測」及び「公共下水道事業の更新需要の推移と予測」の数値を引用している。

※ ハコモノ、道路及び橋りょうの諸条件については、「公共施設等更新費用試算ソフト仕様書」より抜粋

秦野市公共施設等総合管理計画
令和5年（2023年）3月発行
編集発行 秦野市 政策部 行政経営課
TEL 0463-82-5111（代表）
<https://www.city.hadano.kanagawa.jp>